

ぎかい TIMES

令和7年12月1日発行 No.79



親子でしぼる 旭の恵み

「あさひオータムジャンボリー2025」が旭文化の杜公園で開催されました。今回、模型牛による乳しぼり体験が初めて行われ、目を引く模型牛に興味津々の親子は、初めてのしぼる感覚に、驚きと笑顔を浮かべていました。見て、体験して、味わう旭の秋、会場は多くの来場者でにぎわいました。

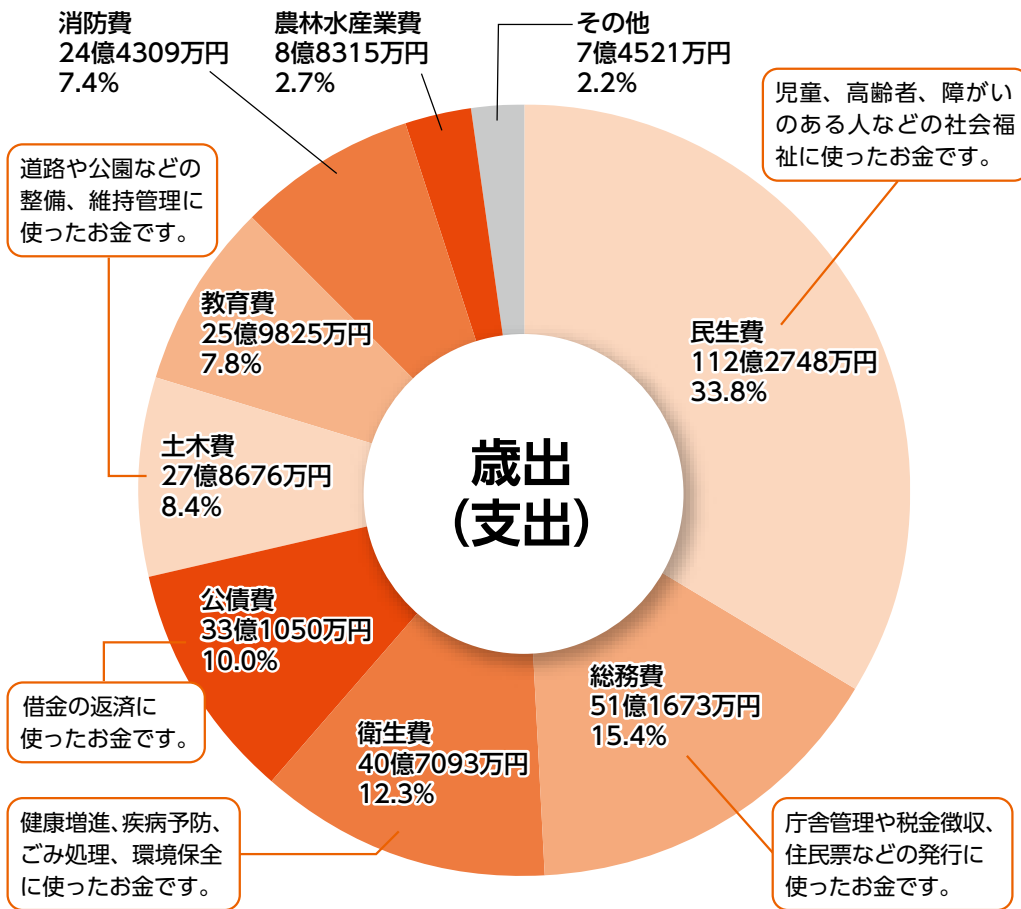
CONTENTS

令和6年度決算…2 決算審査特別委員会…4 9月定例会 議案審議…6 常任委員会審査Q&A…7 審議結果一覧…8

一般会計歳出

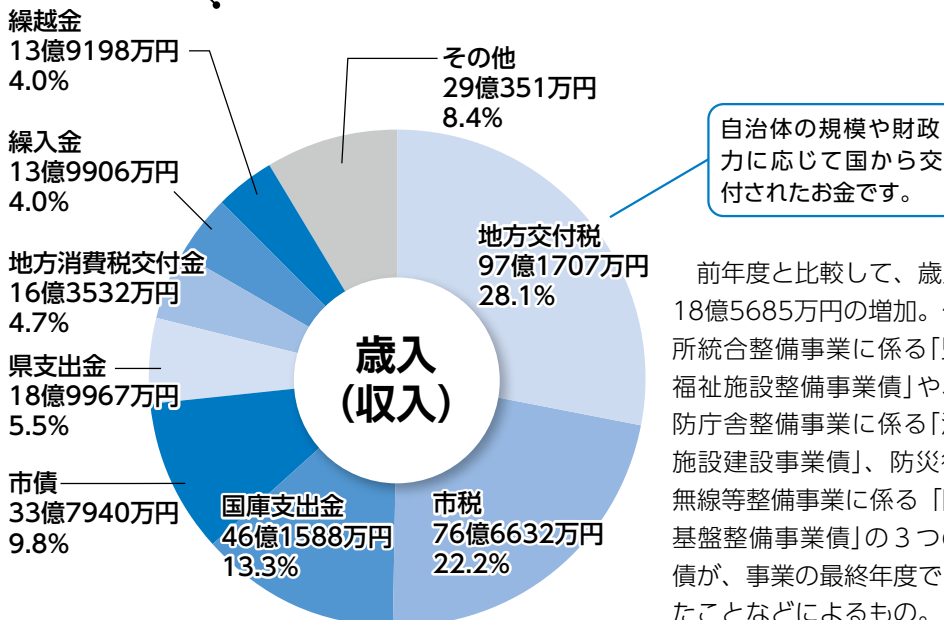
331億8210万円を認定

歳出 331億8210万円



前年度と比較して、歳出は18億2273万円の増加。歳出決算額の主な項目の前年度比について、民生費は4億1000万円の増加、総務費は8億4000万円の増加、衛生費は7000万円の減少、公債費は5000万円の増加、土木費は1億4000万円の減少、教育費は1億円の増加となっている。

歳入 346億820万円



前年度と比較して、歳入は18億5685万円の増加。保育所統合整備事業に係る「児童福祉施設整備事業債」や、消防庁舎整備事業に係る「消防施設建設事業債」、防災行政無線等整備事業に係る「防災基盤整備事業債」の3つの市債が、事業の最終年度であったことなどによるもの。

令和6年度

主な事業

PICK UP

令和6年度に実施した事業の一部を紹介します。

庁舎管理



設置されたEV急速充電設備

決算額 9570万円

1階マイナンバーカード受付ブースや2階こども家庭センターの設置。屋外駐車場へEV急速充電設備、地下駐車場への公用車用EV充電コンセントの設置をした。

デマンド交通運行



増車した区域外運行車両

決算額 2622万円

令和6年4月1日から共通乗降場所に医療機関(医科・歯科)を追加し、区域外運行(エリア跨ぎ)ができる運行車両を1台増車した。

物価高騰対策商品券配付



決算額 1億9057万円

住民税非課税世帯等物価高騰対策給付金の給付対象世帯を除く市内全世帯に対し、1万円分の商品券を配付した。

【配付世帯数】 18330世帯

感染症予防対策



決算額 1億8432万円

感染症の発症及びまん延防止を図るため、令和6年度は新型コロナウイルスワクチン感染症定期接種、带状疱疹ワクチン任意接種の費用助成を開始した。

ファミリー・サポート・センター



決算額 333万円

子育てのお手伝いをしてほしい人(利用会員)とお手伝いをしたい人(提供会員)の相互援助活動を支援するため、令和6年11月に開設した。

保育所統合整備



統合された「ふたば保育所」

決算額 6億7045万円

保育所を取り巻く様々な問題に対応するため、中央第二保育所とゆたか保育所を統合し「旭市立ふたば保育所」を整備した。

外出支援サービス



決算額 262万円

下肢の不自由な高齢者等に対し、医療機関の受診や入退院等の際にタクシー料金の全部または一部を助成した。

市営住宅改修



改修された双葉団地A

決算額 8891万円

市営双葉団地Aの大規模改修工事(外壁塗装、屋上・ベランダ防水、給排水設備更新等)を行い、長寿命化を図った。

消防庁舎整備



完成した東部分署庁舎

決算額 6億5696万円

分署を再編することで人員を集約し迅速かつ多種多様な出動態勢を整え、出動体制の強化を図る。令和6年度は東部分署庁舎が完成し、試行運用を開始した。

決算審査特別委員会

お金の使い方を詳しくチェック



予算の使い方が適正であったか、効果があったかなどをチェックするために「決算審査特別委員会」を設置し、令和6年度各会計決算8議案を3日間にわたり審査しました。審査の結果、いずれも原案のとおり認定・可決すべきものと決しました。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。

詳しい内容を知りたい場合は12月中に掲載予定の会議録をご覧ください。



旭市議会
会議録検索システム

令和6年度一般会計決算

総務

問 コミュニティバス運行事業の利用者数は。

答 コミュニティバス運行事業はルートごとに、東西線が4万330人、旭南ルートが8589人、海上ルートが3563人、干潟ルートが4491人で、合計5万6973人の利用があった。

問 デマンド交通運行事業の利用者数は。

答 デマンド交通運行事業は地区別で、旭南地区が2498人、干潟・旭北地区が2465人、海上・飯岡地区が2174人、区域外運行が2229人で、合計9366人の利用があった。

問 定住促進奨励金3073万円の内容は。

答 市外からの転入者が、新築または中古住宅を取得した際に奨励金を交付している。令和6年度は、新築住宅が34件で2600万円、中古住宅が11件で473万円の交付を行った。

民生

問 ファミリー・サポート・センター事業について、活動実績が伸びなかったのはなぜか。また、予算額866万円に対して、決算額が333万2460円となった要因は。

答 活動実績については、11月に事業を開始し、同時に会員の募集も始めたが、2月に初めての利用申し込みがあり、3月に活動が行われたため、実績は5件となった。また、決算額が減った要因については、本事業は当初、委託業務として開設準備金を含んだ予算立てをしていた。プロポーザルを実施したが応募者がなかったことから、市直営で子育て支援センターハニカム内で事業を開始したため、準備にかかる費用が削減された。

環境

問 新型コロナウイルス接種費用助成金について、接種者数とワクチンの有効性は。

答 令和3年度から国の主導で接種を始めており、一定の有効性がある。令和6年度の接種者数は、2755人で、現在は予防接種法のB類疾病の定期接種に該当することから、対象者には副反応などの周知を行い本人の判断で接種してもらっている。

問 住宅用省エネルギー設備設置補助金について、執行率が50%以下の理由を伺う。

答 令和6年度は65件と申請が少なかった。資源エネルギー庁の再生可能エネルギーの固定価格買取制度が終了した中で、発電などの申請が減ってきたというふうに推察している。

農業

問 園芸用廃プラスチック処理対策事業について、令和6年度と前年度の処理量と補助金額は。

答 処理量は、令和6年度は20万5180kg、令和5年度は23万750kgであった。また補助金額は令和6年度が636万580円、令和5年度が715万3250円であった。

問 畜産環境フレッシュ事業について、飼料添加剤と臭気拡散防止資材の効果は。

答 飼料添加剤は1件、臭気拡散防止資材は3件の実績があり、臭気指数が減少するなどの効果が見られ、臭気の低減につながった。



補助金を活用して導入された堆肥舎のメッシュシートカーテン

問 有害鳥獣駆除事業について、前年度と比較した被害額と駆除件数の推移は。

答 令和6年度の被害額は1622万1000円、令和5年度は1699万2000円で横ばいである。カラスなどの害鳥駆除とイノシシの捕獲頭数は横ばい傾向であるが、アライグマは令和6年度64頭で前年度から34頭の増、ハクビシンについては令和6年度29頭で前年度から13頭の増である。

商業

問 空き店舗活用事業補助金について、内容と実績は。

答 内容は、空き店舗の改装に係るものが、対象経費の2分の1以内で上限100万円、賃借料は対象経費の2分の1以内で上限月額5万円、通算24ヶ月限度である。また、令和6年度の実績は、改装費が4件、賃借料は新規が6件、継続が18件である。

問 観光施設管理費のうち、工事請負費3429万8000円の内訳は。

答 市営海浜プールの改修工事に933万9000円。飯岡刑部岬展望館に至る坂の途中から右側に下りる観光遊歩道の安全施設の設置工事等で1261万7000円。長熊釣り堀センターの浄化槽の設置及びトイレ等の改修工事で1234万2000円となっている。



安全施設を設置した観光遊歩道

消防

問 防災行政無線等整備事業について、戸別受信機の配布実績と目標配布率はあるのか。

答 事業は令和5年度から令和7年度の複数年で実施し、令和6年度は7946台配布し、配布率は36・2%であった。市内全世帯約2万7000世帯の約80%にあたる2万2000世帯に配布したい。

教育

問 育英資金給付事業を活用した方の卒業後の進路と旭市に戻ってきた人数は。

答 令和6年度は大学等への進学が21名。就職が19名、うち3名が旭市内へ就職。その他わからない方々が8名となっている。

問 学校いきいきプラン事業について、具体的な活動内容は。

答 主な内容としては、タレントや元オリンピック選手に外部講師を依頼して授業を行ったり、ミュージカル、音楽鑑賞、また地引き網漁体験や遊漁船での海洋体験学習などを実施している。

令和6年度国民健康保険会計決算

問 滝郷診療所について、繰り入れが2000万円と年々負担が増加しているが、施設の在り方について方針は。

答 医師の招聘を最優先に考え、施設のことについては、後任の医師と相談していく。

令和6年度介護保険会計決算

問 配食サービス事業の概要と令和6年度の実績は。

答 本事業は、調理の困難なひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯を対象に、栄養のバランスのとれた食事を提供し、安否確認をするともに介護予防を図っている。実績として、対象者254人に対して2万3806食を配食した。

令和6年度水道会計決算

問 普通の配水管布設はポリエチレン管が使用されるが、口地区で鑄鉄管が使用された理由は。

答 配水管についてポリエチレン管は150mmまでで、200mm以上の場合

は、鑄鉄管を使用するためである。

令和6年度公共下水道会計決算

問 企業債の利率について変動があるが、借り換えの検討はしないのか。

答 借り換えは補償金を支払うことでできるが、試算によると、借り換え後の負担軽減に必ずしも繋がらない。また、繰上償還は利息の軽減が見込めるが、世代間負担の公平性の観点からバランス関係もあり、行えない。

令和6年度農業集落排水会計決算

問 集落排水事業については、市内業者がいらないが、応札できない工事なのか。

答 機材や機械が特別製作によるものがほとんどで、維持管理をする業者は、効率と値段の関係で契約相手が決まってしまう。

決算審査特別委員会委員

委員長	松木源太郎
副委員長	伊場 哲也
委員	遠藤 保明
	井田 孝
	永井 孝佳
	崎山 華英
	平山 清海
	菅谷 道晴
	常世田正樹

- 決算案件 8件
- 予算案件 6件
- 条例案件 5件
- その他案件 4件

この定例会には、令和6年度各会計決算、令和7年度各会計補正予算、条例の一部改正など23議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり認定・可決・同意されました。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。QRコードを読み取ると議案質疑の録画映像をご覧ください。



議案
第20号

旭中央病院第3期中期計画の変更に係る認可

第3期中期目標を達成するための計画を変更

厳しい経営環境に直面している同病院が、引き続き安定した病院経営を維持できるよう、資金繰りを平準化し、確実に運営資金を確保するため、計画の予算、収支計画及び資金計画を変更する。

問 どのような理由と背景から、今回の中期計画の変更が必要となり、どの点が主に変わるのか伺う。

答 今回の変更は、計画期間中における施設や医療機械機器の整備など、設備投資に係る財政措置として、可能な限り起債を活用することとし、その額を増額しようとするもの。旭中央病院では、従来、設備投資に際しては、負債額の抑制等の観点から、大規模な建設事業や高額な医療機器等の整備にのみ起債を活用し、それ以外には自己資金を充ててきた。今回の中期計画においても、それは同様だったが、一般の人員費や薬剤費等の高騰に診療報酬の水準が対応していないことなどにより、全国的に病院の経営が急激に悪化しており、旭中央病院においても、令和5、6年度と連続して赤字を計上している。これに伴い、現金預金が大きく減少した。市民に対して良質な医療

を提供していくためには経営の安定が不可欠であることを踏まえ、企業の短期的な支払い能力を示す流動比率を急激に低下させないようにするため、流動資産である現金預金の確保を図る、病院事業債については、その元利償還金の25%が交付税措置されることから、収入の増加を図る、耐用年数に応じた償還年限を設定した起債を行うことにより、負担の平準化を図る、などの理由により今回の変更を行う。

問 設立団体である旭市として、今後どのような支援を検討しているのか。

答 これからも安定した医療サービスを提供できるよう、定期的に情報交換を行い、病院事業債の管理だけでなく、経営状況の把握に努め、必要であれば業務運営の改善等の指示を行う。

問 市民への説明責任の果たし方について伺う。

答 中期目標や中期計画のほか、年度計画や業務実績、そのほかの財務諸表など、旭中央病院の運営状況について議会へ報告するとともに、市及び法人のホームページにて公表している。

議案
第22号

工事請負契約の締結（ひかた椿小学校（電気設備））

契約方法 総合評価方式一般競争入札
契約金額 2億900万円

相手方 鈴木電設株式会社

問 同時に公告した建築工事が不調になっている。開札調書を確認したところ、予定価格と大きな開きがあるようだった。建築工事は、設計変更して再入札にかけると思うが、電気設備工事も設計や積算を見直したほうが、一体的でよりよい改造工事になると思うが、本市の見解を伺う。

答 今回入札を行った建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構改修工事の4本の工事については、関連する工事ではあるが、それぞれの工事において独立した形で適正に積算を行っている。

問 建築工事の入札では、近隣において入札不調が多発している状況であり、設計変更して再入札を繰り返しても、落札されないケースが多発している。機械設備工事、外構改修工事は契約しているようだが、建築工事のめどが立たない中で電気設備工事も契約して、影響はどの程度なのか伺う。

答 既に契約している機械設備工事と外構改修工事の受注者とは、今後、打合せを行う予定。電気設備工事についても、契約後に打合せを進めていく予定。建築工事に影響のない範囲で、着工するか、建築工事が決定した後にスムーズに工事が進められるよう段取りや材料の確保などの準備を進めてもらう予定。

常任委員会審査Q & A

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。詳しい内容を知りたい場合は12月中旬に掲載予定の会議録をご覧ください。



旭市議会
会議録検索システム

建設経済常任委員会

令和7年度旭市一般会計補正予算について(議案第9号)

Q 農業経営多角化支援事業補助金、268万5000円の内容は。

A 県の補助金制度を活用し、市内事業者の6次産業への取り組みを支援する。ヨーグルト製造にかかる機械を新たに導入し、現在の商品展開にヨーグルトを加えることで、顧客獲得と経営安定化が図れる。

Q 大変いい取り組みだと思うが、申請者は1者だけだったのか。

A 以前から申請者のほうでこのヨーグルトに使う補助制度について、県へ相談しており、今回県の補助金がついたので追加する。

旭市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について(議案第17号)

Q 現状では、災害が起きた場合でも水道管の工事は指定業者以外ではできないのか。

A 本市の指定給水装置工事事業者は主に宅内の給水に関する業者を指定している。能登半島地震で、指定業

者が被災したり、工事を賄いきれなくなったりして、宅内の給水装置の復旧が間に合わなかったことから、近隣や県内で登録している事業者も工事できるように改正する。

審査結果

委員会付託の5議案について、全員賛成で原案のとおり可決。

文教福祉常任委員会

令和7年度旭市一般会計補正予算について(議案第9号)

Q 産後ケア事業委託料について、補正額192万7000円の積算根拠は。

A 本事業のサービスには、宿泊型、通所型、訪問型の3つがあり、当初予算では合計59名を見込んでいた。8月末現在の利用者数が多いことから、112名分の増を補正額とした。

Q 中学校施設改修に係る市債1230万円について、妥当性や償還期間は。

A 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債を活用し、交付税措置率

50%で、償還期間は5年であり、有利な財源の利用を常に考えている。

財産の取得について(学習用タブレット端末等)(議案第21号)

Q 学習用タブレット端末、4350台の積算根拠と、現在の端末の使用年数は。

A 令和7年度の児童生徒数が4120人、そこに予備機が認められていることから、合計4350台としている。また、現在の端末は使用から5年を経過している。



現在使用している学習用端末

審査結果

委員会付託の6議案について、全員賛成で原案のとおり可決。

総務常任委員会

令和7年度旭市病院事業債管理特別会計補正予算の議決について(議案第10号)

Q 病院事業債の増額により、予算の割り当てはどうなったか伺う。

A 研修医宿舎工事に、21億3550万円、医療機器の導入に、10億7000万円、施設や情報システムの整備事業に、15億6450万円の予算割り当てとなる。

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第3期中期計画の変更に係る認可について(議案第20号)

Q 診療報酬の改定が予定されている中、どの程度診療報酬の上昇が見込まれば、病院経営は黒字回復に繋がるか。

A 診療報酬が何パーセントであれば、黒字になるとの試算はしていないが、物価や人件費の高騰、病院が支払う委託費等も伸びていることから、高齢者人口の伸びの他に、物価高騰など様々な条件を含んだ改定がされることを国に強く要望している。

Q 病院の内部留保資金の使用について、どのように考えているか。

A 概ね100億円の内部留保資金を常時保有している。収入と支出を考えると安定的な病院運営のためには、最低でも60億円以上は必要である。厳しい経営が続く状況でも、現在の留保資金を維持したいと考えている。

審査結果

委員会付託の5議案について、全員賛成で原案のとおり可決。

令和7年第3回定例会 審議結果一覧

賛否が分かれた議案と欠席者のあった議案

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長
※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			常世田正樹	伊藤春美	菅谷道晴	伊場哲也	平山清海	崎山華英	永井孝佳	井田孝	島田恒	片桐文夫	遠藤保明	林晴道	宮内保	飯嶋正利	宮澤芳雄	伊藤房代	向後悦世	景山岩三郎	木内欽市	松木源太郎
市長提出議案																						
1	令和6年度旭市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
23	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	欠	○	○

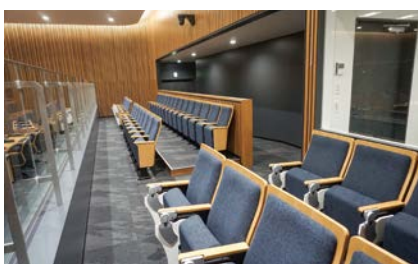
全員賛成で議決した議案

- 議案2 令和6年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について
- 議案3 令和6年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- 議案4 令和6年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- 議案5 令和6年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 議案6 令和6年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案7 令和6年度旭市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案8 令和6年度旭市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案9 令和7年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案10 令和7年度旭市病院事業債管理特別会計補正予算の議決について
- 議案11 令和7年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について
- 議案12 令和7年度旭市後期高齢者医療特別会計補正予算の議決について

- 議案13 令和7年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について
- 議案14 令和7年度旭市水道事業会計補正予算の議決について
- 議案15 旭市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案16 旭市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案17 旭市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案18 旭市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案19 旭市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案20 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第3期中期計画の変更に係る認可について
- 議案21 財産の取得について(学習用タブレット端末等)
- 議案22 工事請負契約の締結について(旭市立ひかた椿小学校統合大規模改造工事(電気設備))

議会を傍聴してみませんか

- 議会はどなたでも傍聴することができます。(事前予約は不要)
- 傍聴席の入り口にある「傍聴券」に「氏名」と「住所」を記入して、入場してください。
- 車いすの方、お子様連れの方も傍聴することができます。お子様連れの方は親子傍聴席をご利用ください。
- 傍聴席には難聴者向けにヒアリンググループを設置しており、ヒアリンググループ受信機の貸し出しも行っていますので、必要な方は職員へお申し付けください。



傍聴席



個室となっている親子傍聴席



傍聴ロビーでも議会を視聴可能

市政を問う！

第3回定例会

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



学校教育の充実について

問 市内小・中学校において、教員等の人数が不足しているようであるが、近年、どうして教員を志す人が減少してしまったのか教育長に伺う。

答 かつては「子どもたちのためなら」と、教員としての使命感にあふれた、聖職者としての思いから、勤務時間を気にせず休日も返上で働くといった風潮があり、それが長らく続いてきた。近年では、ワーク・ライフ・バランスや働きやすさ重視へと国民の職業に対する考え方も変化しており、課題が山積し、過重労働や長時間労働のイメージが強い教職が敬遠されるようになったと考える。現在、本市の小・中学校では、多くの教職員が本来の業務に加え様々な負担を抱えながらも、子どもたちの成長と笑顔のために精いっぱい力を尽くしてくれている。その努力が子どもたちの未来を支え、地域社会の希望を築いており、

防災力の強化について

問 市長は常日頃より市民の生命と財産を守ることが行政の使命であると明言している。中学校の体育館への空調設備の設置を来年度から行うという決断は素晴らしいが、小学校の体育館への空調設備の設置もまた早急に実行しなければならぬと思う。市長の見解を伺う。

答 学校の体育館は、学校教育活動で使用するほか、災害時の地域住民の避難場所として良好な環境の確保の観点からも重要な役割を担っている。夏場の熱中症対策や冬場の厳しい寒さからの二次的な健康被害を防ぐためなど、総合的な防災機能強化の観点からも空調設備の必要性は十分に認識している。小学校体育館への設置は、まずは統合を控えたひかた椿小学校への設置を進め、順次市内の小学校についても学校再編の進捗状況を見極めながら積極的に設置できるよう検討を進めていく。

その他の質問事項

- 日本人と外国人の双方が住みやすくなるまちづくり
- 海外都市との姉妹都市協定



常世田 正樹 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



島田 恒 議員



旭市農業の未来とDXによる農家の組織化・活性化について

問 農業DXをどのように位置づけ、どのような姿を目指すしていくのか、市長の考えを伺う。

答 本市の農業は、豊かな自然環境と先人たちのためめぬ努力に支えられて発展してきた。しかし、農業者の高齢化や労働力不足など、構造的な課題が深刻化している。こうした中、今期から始まった第3期旭市総合戦略においても、デジタル技術の進展を農業分野に生かした地域課題の解決をうたっている。生産性の向上や省力化などを進めながら消費者に評価される価値を生み出す農業DXは、本市農業の持続的な成長を目指すための重要な取り組みである。国や県の支援制度や民間事業者の持つ知見も活用しながら、地域の担い手、農業組織などと連携し、本市の強みである高い生産技術と高品質で多様な品目を有するという特性を生かした農業DXの

推進を図っていく。

問 農業の現場ではデジタル化の進め方が分からないという声も聞こえる。だからこそ、行政側においても、農業のDXを伴走支援できる体制が必要。大学やJA、地元の旭農業高等学校などと連携して、伴走型の支援体制を構築する考えはないか伺う。

答 農業の現場においてICTやDXの活用に関する不安や課題があることは認識している。市としても、農業の持続的発展のためにはデジタル技術の導入を円滑に進めることが重要であると考えている。国や県が実施している支援制度や外部専門家の派遣事業などの活用も視野に入れ、大学やJA、旭農業高等学校などとの連携についても、農業者への伴走支援の体制づくりに向けて、その可能性を調査研究していきたい。

問 モデル地区やモデル農家を定めて、JAや農業団体と連携して意欲ある農家を対象に、農業グループ立ち上げの支援をするなどの考えはあるか伺う。

答 具体的な検討はない。関係機関と意見交換を行いながら、現場のニーズを把握し、農家の自主的な取り組みが円滑に進むよう、支援のあり方を研究していく。

第二中学校通学路の安全対策について

問 西側正門の通りと旧市役所通りとの交差点で、道路を渡れず自転車横並びとなっている状態が何年も続いている。宿大神区では、旭警察署へこの交差点に信号機を設置するよう要望したが、信号機を設置するためには信号を待つスペースを確保できることが条件で、設置は難しいという回答であった。立地的に難しいが、市として当該交差点に信号を待つスペースを確保することはできないか伺う。

答 信号機の設置には他にも交差する車両や自動車などが安全に擦れ違うために必要な道路幅員確保など、多くの条件がある。現時点での設置は難しいので、安全対策について信号機以外の方法も検討していく。

問 この道路を南下すると県道がカーブしている区間に交差する。交差角度が直角でなく左折しようとする反対車線へはみ

出し、危険を感じる。交差点に隅切りを設置することはできないか伺う。

答 隅切りの設置により、当該交差点での安全性が向上すると考えられるので検討を進めたい。

選挙の投票率向上について

問 7月の選挙の投票結果では約42%の方が期日前投票を利用している。そこで、さらに投票しやすいよう利用者の多いおひさまテラスを期日前投票所とすることはできないか伺う。

答 現在4つの期日前投票所は充足している。おひさまテラスへの期日前投票所の設置については配置バランスを含めて十分な検討が必要だが、必要に応じ新たな取り組みを速やかに導入できるよう継続して研究してまいりたい。

問 選挙当日の投票時間を午後6時とした自治体もあるが、本市において投票時間の短縮は考えられるのか伺う。

答 閉鎖時刻の繰上げについて、選挙人の利便性や立会人の負担軽減などがあげられるので、近隣市町の動向等にも注視しながら、今後慎重に調査したい。



井田 孝 議員





平山 清海 議員



仁玉川の安全対策について

問 市役所南側の仁玉川について、防護柵が十分でなく安全面に不安がある。転落防止柵を設置できないか伺う。

答 転落防止柵については、管理者である大利根土地改良区に対して設置の要望をしている。大利根土地改良区からは、設置については維持管理の面と周辺の状態を確認した上で検討するとの回答があり、引き続き設置に向けた要望と調整を進めていく。



転落防止柵がない仁玉川

道路環境整備について

問 国道126号、網戸地区から飯岡バイパスの区間及び飯岡バイパス全線において草刈りが不十分のため歩道の通行ができない箇所や車道へ草がはみ出している箇所があり、危険な状態となっている。改善することはできないか伺う。

答 当該区間に草が繁茂している状況は把握している。市民からの問い合わせの都度、現地を確認の上、管理者である千葉県海匠土木事務所へ草刈りの依頼を行っている。当該区間については年に1回から2回の除草に加え、危険箇所については都度対応していると聞いている。今回も、現地を確認した上で、関係機関へ改善措置を要望したい。

問 国・県道の管理は千葉県であることは理解しているが、場合によっては市で草刈りをすることはできないか伺う。

答 市が管理者に代わって草刈りを行うことは、法的な役割分担や安全管理などの面から難しい。

その他の質問事項

○指定緊急避難場所における環境対策について

市図書館運営の今後について

問 県立東部図書館が市へ移譲される予定となっているが、どのように進めていくのか。

答 新県立図書館の開館に伴い、東部図書館は令和10年度内に移転を開始し、令和11年度以降に補修工事を行った上で令和13年度に市へ移譲予定。市は移譲後に改修を行い、工事期間中は空き公共施設などを活用した仮設図書館を設置する方向で検討している。

問 旭市図書館リニューアルアンケートでは「子どもも気軽に立ち寄れる図書館にしてほしい」という声が多く集まっていた。子どもたちが安心して過ごせる居場所機能を今後の図書館には充実させるべきと考えるが市の考えはどうか。

答 旭市図書館は児童書の充実や中高生の学習利用がある一方、全体的に静かな環境で多様なニーズに十分応えられていない。今後は親子や友人同士で利用できるスペースや中高生が話しながら学べる場の設置を検討し、子どもが安心して過ごせる図書館を目指す。

観光資源の活用について

問 近年、井戸野浜では全国レベルのサーフィン大会が開催され、多くの選手や観光客が訪れているが、トイレやシャワーなどの設備はなく、駐車スペースも凹凸が多い状況。多くの市外・県外からの来訪が発生している中で、環境整備・改善は急務であると考えるが、市の対応を伺う。

答 九十九里浜は海岸法や県立九十九里自然公園条例などにより車両の乗り入れが規制されている。トイレ設置や駐車場整備、地面の補修にも県との協議が必要状況。井戸野浜周辺には既存の駐車場やトイレがあるが、駐車スペースの凹凸解消など環境整備には可能な範囲で対応していく。

その他の質問事項
○放課後児童クラブの利便性の向上について
○親も子ども安心できる子どもの居場所の確保について
○津波警報による避難所運営について



伊藤 春美 議員



HPV検査単独法導入について

問 子宮頸がん発症のリスク保持者を細胞診よりも早く見つけることができるHPV検査単独法を早く導入すべきと考えるが、現状を伺う。

答 HPV検査単独法の効果を十分に発揮するためには、精度管理体制の構築が重要。現在、職員研修や個別の対象者の検診受診状況を追跡できる健康管理システムの改修に向けた準備を進めている。導入の時期については、慎重に検討していきたい。

RSウイルスワクチン接種費用助成について

問 高齢者や基礎疾患を併存する方が重症化しやすいRSウイルス感染症について、重症化予防に有効性の高いRSウイルスワクチンの接種費用を補助できないか伺う。

答 現在、RSウイルスワクチンについては、国が定期接種化を検討し、審議が進められている。接種費用の助成については、今後の国や県の動向、他市の取り組みを参考にしながら、対応を検討していきたい。

動物基金登録について

問 * TNR活動や保護猫活動などは、ボランティア団体や個人の善意によって支えられている。行政として支援が必要だと考えるが、TNR活動などを行っている方への支援として、どうぶつ基金の行政枠への登録はできないか伺う。

答 どうぶつ基金の行政枠への登録については、関係機関と意見を交わしながら、申請方法やチケットの配布方法等も含め、保護活動を行っているボランティア団体や個人の方が利用しやすい制度となるよう、登録について検討していきたい。

※ TNR活動……解説は16ページ。

問 ふるさと納税等を利用した支援を行っている自治体もあるようだが、本市でも導入はできないか伺う。

答 様々な形で支援を行っている自治体もあるようなので、今後、それらの先進的な取り組みの情報を収集していきたい。

洋上風力発電事業について

問 三菱商事、中部電力などの企業連合は、物価高で採算が取れないと判断し、千葉県銚子沖を含む3海域での洋上風力発電事業から撤退するという報道があった。撤退に伴い出捐金にどのような影響が出るのか伺う。

答 協定書には事業の継続が困難となった場合は、出捐義務を免れると規定している。撤退後も地元への支援を継続するように事業者へ要望したが、現時点では支援を継続できるかは分からないとのことだった。

※ 出捐金……解説は16ページ。

特定外来生物ナガエツルノゲイトウ対策について

問 3年くらいの繁殖状況を見ると、同じ場所に繁殖している。何か同じ場所に繁殖する原因があるのではないか。そのような現状に対して、対策はどのような取り組みでいくのか伺う。

答 ナガエツルノゲイトウは拡散力、再生力が非常に強く、僅かに残った断片からも再生するため、何度も同じ場所で繁殖を続ける。このため粘り強く継続して駆除に取り組む必要がある。引き続き、農業事務所や土地改良区と共に、対策を進めていきたい。

問 国や県に対して、利根川上流部のナガエツルノゲイトウの防除対策と根絶を強く要望すべきと考えるが見解を伺う。

答 利根川からの防除対策については、関係する市町村や土地改良区などと連携した取り組みが必要となることから、今後検討していきたい。

米の生産について

問 耕畜連携を進めていく上で、飼料用米の生産と利用促進を支援していくべきではないか。今後の取り組みを伺う。

答 長期的に飼料用米は、自給率の向上や所得の安定に必要であり、当市の耕畜連携はモデル的な取り組みなので、引き続き、国・県へ支援の拡充を要望していくとともに、畜産農家と米農家との連携体制を堅持していきたい。その他の質問事項
○ 防災行政について



宮内 保 議員





宮澤 芳雄 議員



廃校になる干潟地域の小学校の校舎利用について

問 廃校後の校舎利用の進め方と市の考えについて伺う。

答 検討会などの設置予定はないが、地域の方々と連携を図りながら、統合後の跡地活用に取り組んでいく。

問 廃校後の学校開放について伺う。

答 統合により学校施設としての用途は変更されるが、引き続き学校開放を利用する方々が活動できるよう協議を行っていく。

問 校舎の一部をスポーツ団体が利用することは可能か。

答 地域の資源を再活用し、スポーツやレクリエーションを楽しむことは、スポーツ振興の促進や地域の一体感の醸成が図られるとともに、健康増進への環境づくりにつながるものと考えている。学校再編準備委員会において、意見や要望を伺い議論を重ねていく。

救急車の適正利用について

問 救急車の有料化について伺う。

答 救急車要請時の緊急性が認められない場合に、搬送先の病院で選定療養費を病院に支払うもの。救急車の利用料、救急車の有料化ということではない。

問 救急相談センターについて伺う。

答 救急車を呼ぶか迷った時に電話相談できるもの。看護師が相談に応じ、必要な場合は医師に転送される。電話番号は15歳以上は#7119、15歳未満は#8000、相談は無料。

水道事業について

問 水道企業団の干潟地域の送水管の更新について伺う。

答 令和7年度から詳細設計を実施、令和8年度から工事に着手し、令和13年度までに完了する予定と伺っている。

問 干潟配水場配水池の増設について伺う。

答 干潟配水場配水池の増設については、令和12年度から令和16年度までの施工計画となっている。

いおかみなと公園の遊具について

問 船型遊具が全面的に使えなくなっているが、修理の予定を伺う。

答 県と今後の対応について協議をしている。今年度に撤去をして、新たに小規模な遊具を設置することで調整している。同規模なものを新たに設置する場合は2億円程度かかると聞いている。

問 市で部分的に修繕して利用する事はできないか。

答 老朽化から主要な構造部に不具合が出ているため、修理で対応することはできない。



現在使用できない船形遊具

生活保護について

問 令和7年4月現在の生活保護受給率を伺う。

答 全国1・61%、千葉県1・3%、旭市0・86%。

問 年金が少ない場合も生活保護の支給対象になるのか。

答 一般的に生活保護が必要であるかどうかは、収入状況、資産状況、援助状況などを勘案して判断する。仮に月額5万円の年金を受給し、家賃が3万7000円のアパートでひとり暮らしをしている75歳の場合、生活扶助6万3890円、住宅扶助3万7000円、合計10万890円となり、5万円との差額、5万890円が生活保護として支給される。

問 必要な人に支援が届くような周知やアプローチは。

答 市窓口、民生委員、社会福祉協議会、海匠ネットワーク、地域包括支援センターなどのほか、市職員が自宅や病院へ出向いて相談や申請を受け付けることもある。

その他の質問事項

- HPVウイルスについて
- 職員採用について
- 職員給与について
- ふるさと納税について



伊藤 房代 議員



小・中学校へのエアコン設置について

問

学校の体育館は、子どもたちの教育の場であり、災害時には地域の避難所としても重要な役割を担っている。児童・生徒に加えて避難者も安心して過ごせるようにすることが大事。近年は、全国的に猛暑日が増えており、命と健康を守るためにも早急に学校の体育館への空調整備(エアコンの設置)が必要と考える。今後の計画について伺う。

答

市内小・中学校のうち、中学校の体育館への空調設備の設置については、先行して設計業務を進め、早ければ令和8年度中に設置したいと考えている。これに伴い、中学校の設計業務委託の補正予算を本定例会に上程した。小学校の体育館のうち、ひかた椿小学校については、令和9年4月の開校に向けた大規模改造工事に併せて、中学校と同様に令和8年度中には空調設備を設置する予定。そのほかの小学校についても、積極

的に検討していく。

高齢ドライバーの安全対策について

問

ペダル踏み間違い事故における運転者の死亡率は、他の一般的な交通事故に比べて10倍以上も高いことが分かっている。この事実は、踏み間違い事故が単なる操作ミスではなく、生命に関わる極めて危険な事故であることを明確に示している。旭市でも、高齢ドライバーの安全運転を支援する後付け踏み間違い防止装置設置への補助はできないか伺う。

答

踏み間違い防止装置は、高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違い事故の防止に一定の効果を発揮するものと認識されており、令和10年9月以降の新型乗用車には搭載が義務づけられることとなった。後付け踏み間違い防止装置の取り付けに係る費用の補助については、現在のところ、千葉県内では銚子市のみが行っているほか、茨城県守谷市やつくばみらい市などが実施している。費用の補助については、実施中の自治体の補助実績を基に必要性を検討したい。

その他の質問事項

○投票率向上について

第3期旭市総合戦略の地域福祉の充実について

問

計画最終年度までにどのような状態にしようとしているのか。市の生活保護受給率が全国、県と比較して低いのは、低所得者が少ないのか、拾えていないのか調査する必要がある。

答

生活保護業務は国からの受託事務で、基本的に市町村で業務内容の違いはない。制度を適切に実施した結果である。

問

福祉の手が届かない問題が旭市では起こっている。このような問題に目を向けた計画にしてみたい。市長の考えは。

答

私が職員に言っているのは、もう市役所の中だけで我々の仕事は完結しない、まちへ出て市民と一緒にまちづくりをしようという話をしている。

問

学校再編の進捗状況について(仮称)北統合中学校の予定地はどうなっているのか。

答

北統合中学校は、新しい場所に新築する方針。地域検討会議を設置し、新設場所の候補地についても意見を伺っている。

旭市の職員の労働環境並びに労働条件について

問

今年になってから、保育所の中でハラスメント問題があった。ハラスメントがなぜ起こるのか、職場の中にハラスメントを起こす人間関係があるから。旭市役所の職場の中は誰もが平等に働ける環境ではない。そのような環境の中の社会心理学的状況から、ハラスメントが起こる。市はいろんな状況で長期に休んでいる職員が5人もいると言っていた。正規職員640人前後の中で長期休暇が5人もいるのは大変なこと。ハラスメント対策は現在どのようなになっているのか。

答

多くの職員がハラスメント根絶に向けた機運を醸成できるように研修を計画し、受講させている。

問

何%の職員がハラスメントの研修を受講しているのか。100%を目指すべき。

答

パーセントとしては、今はつきりとした数字は持ち合わせていない。



伊場 哲也 議員



公共施設再編事業の進捗と将来展望について

問 保育所再編事業の進捗状況と民営化や指定管理者制度による運営形態の変更に伴う成果及び評価を伺う。

答 市の保育所再編計画に基づき再編事業を進めている。計画期間は令和4年度から18年度までの15年間、13か所ある公立保育所を6か所に統合、2か所を民営化する予定。最初の再編となる中央第二保育所とゆたか保育所の統合を旧青年の家跡地にふたば保育所として、4月に開所。現在、日の出保育所とともうら保育所の統合に向け、日の出保育所を統合保育所とする改修工事を実施しており、令和8年4月から供用開始予定。いいおか保育所は、民営化に向けて調査研究中。干潟保育所は、指定管理者制度による運営から、令和5年4月に完全民営化され、ひがた保育園として開園。民営化により、意思決定が迅速に行

えるようになり、大型複合遊具の設置やお昼寝時の呼吸確認についてICT化を実施するなど、多様なサービス提供を行えるようになった。施設の維持管理についても迅速な対応が可能になり、運営面でも効率化が図られている。市のメリットは、施設の維持管理費の削減により、財政負担が軽減。保育の質の向上が図られ、民営化の成果があったと評価できる。

市の財政シナリオについて

問 自主財源の確保・拡充についての戦略を伺う。

答 第5次行政改革アクションプランに「自立のための財政戦略」を施策として掲げ、持続可能な財政基盤の強化を図るため、自主財源の確保に取り組んでいる。取り組み内容は、市債権の収入の確保、基金の計画的な運用、ふるさと応援寄附の推進、資産の有効活用と有益処分が挙げられる。

その他の質問事項

- 小・中学校の学校再編の進捗状況
- 飯岡体育館・飯岡野球場・干潟さくら台野球場の在り方検討状況
- 健康関連施設の再編・統合
- まちかどギャラリー銀座・海上ふれあい館の将来展望

津波避難訓練について

問 日経新聞でも『津波避難、渋滞対策さぐる』原則徒歩』の徹底難しく』というところになっており、福島辺りでも車での避難を認めている。ぜひ車での避難訓練を一度やるべきだと思っが見解を伺う。

答 避難訓練については、原則徒歩で行っている。ただ、自動車での避難も考えられる。自動車での訓練実施に当たっては警察や道路管理者との協議、地域住民の理解と協力が必要となるので、今後課題を整理し、自動車での安全な避難方法についても検討していきたい。

滝郷診療所について

問 滝郷診療所の建て替え予定について、どうなっているのか伺う。

答 診療所は建設から54年ほど経過しており、老朽化しているが、都度修理・修繕をしながら

ら使用している。まずは医師の招聘を最優先と考えている。



建設から54年経過している滝郷診療所

問 中央病院の医師がやめると言ったら大騒ぎする。診療所も同じ、診療所は地元だけでなく、市にとっても大きなメリットがある施設。医師が1人来てくれるだけで、建物も補助金が出る、解体費も補助金が出る。そのほか毎年約700万円の交付税措置を受けている。市長の考えを伺う。

答 滝郷診療所については、これまでどおり、地域に密着した身近なかかりつけ医として運営を継続していく。そのためには、医師の招聘を最優先事項として取り組んでいる。高齢化や人口減少などの社会情勢も見据えながら、住み慣れた地域で安心して医療を受け続けることができるよう、環境を整えていきたい。

あさピーが解説

気になるあの用語



本紙で気になった
用語を解説するよ！

Q TNR活動ってな～に？ 掲載は12ページ

A TNR活動とは、飼い主のいない猫を対象に捕獲(Trap)、不妊・去勢手術(Neuter)、元の場所に戻す(Return)という一連の活動のこと。

TNR活動は、繁殖を抑え、地域住民の迷惑となる問題を減らすことによって、殺処分を減らし、猫が一代限りの命を全うできるように、地域で共存できる環境をつくることを目的としている。

手術済みの猫は、目印として耳先をV字型にカットされ、この耳が桜の花びらのように見えることから、その猫を「さくらねこ」と呼ぶ。



Q 出捐金ってな～に？ 掲載は12ページ

A 出捐とは金品を寄付すること。今回の銚子市沖洋上風力発電事業では、事業者である「千葉銚子オフショアウィンド合同会社」が、旭市の漁業振興基金に対して令和4年から26年間、合計で10億円の出捐金を拠出する旨の協定が結ばれていた。

しかし、今回、事業継続が困難となったことから、協定書の第2条第4項の規定により、出捐義務を免れることになった。



第4回定例会は11月に開催しました

12月21日に旭市議会議員一般選挙が予定されているため、今年の第4回定例会は11月6日～11月27日の日程で開催されました。

会議の様子はインターネットで録画配信しています。QRコードを読み取り、日程一覧から選択してご覧いただけます。

なお、次回の議会は令和8年1月に臨時会を開催予定です。日程が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。



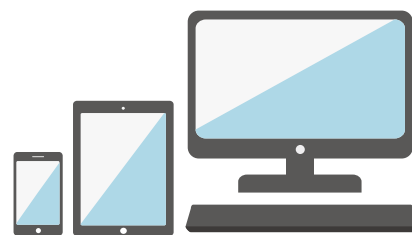
※11月27日の閉会日は12月中に掲載いたします。

議会を傍聴しませんか

本会議は誰でも傍聴できますので、希望される方は、市役所4階の議会事務局までお越しください。親子傍聴席も設置していますので、お子様連れの方でも気兼ねなく傍聴できます。

議会中継をご覧ください

本会議は、インターネットで生中継と録画配信(過去5年分)を行っています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。ぜひご覧ください。



編集後記

あさひ議会だより79号をお読みいただき、ありがとうございます。8月に開かれた第1回臨時会において委員の選任が行われ、任期の途中ではありますが議会だより編集委員に選任されました。短い期間となりましたが、78号と79号の編集に携わりました。旭市は今年で合併20周年を迎えましたが、これからも議会での内容を市民の皆さまにわかりやすく伝えられるよう、また、興味を持って読んでいただける記事を掲載できるように、次期の委員の方々に申し送りをしていきたいと考えます。

この冬はインフルエンザが流行しそうな兆しですが市民の皆さまのご健康を心より祈念申し上げます。

(委員 井田 孝)



旭市議会だより編集委員会

委員長 島田 恒
副委員長 常世田正樹
委員 井田 孝
委員 崎山 華英